

平成23年度市民公開講座

# これから増える眼の病気 ～糖尿病網膜症と加齢黄斑変性～

糖尿病網膜症(とうにょうびょうもうまくしょう)と加齢黄斑変性(かれいおうはんへんせい)は、日本における失明原因の第2位と第4位で、国内に数百万人の患者数がいると言われています。治療法の進歩により、適切な時期に病気を発見できれば、視力を維持できる可能性が高くなってきていますが、これらの病気はゆっくりと発症してくるため、なかなか自覚症状が出ず、治療開始が遅れることもめずらしくありません。早期発見のためには、市民の皆様自身が、眼の病気について理解されることが重要です。

本公開講座では、糖尿病網膜症と加齢黄斑変性の専門医が、病気の特徴や最新の検査・治療方法を、市民の皆様にわかりやすく解説します。また、会場からの疑問・質問にお答えします。糖尿病網膜症・加齢黄斑変性について興味のある、市民の皆様のご参加をお待ちしております。

日時

平成24年 2月4日(土)

13時～15時30分

場所

島根大学出雲キャンパス・  
看護学科棟1階 N11教室

入場  
無料

定員200名

## 1. 糖尿病網膜症

座長 藤田 委由(島根大学公衆衛生学講座 教授)  
島根大学医学部眼科学講座 松岡陽太郎 医師

## 2. 加齢黄斑変性

座長 大平 明弘(島根大学眼科学講座 教授)  
島根大学医学部眼科学講座 小山 泰良 医師

お問い合わせ・申込

島根大学医学部眼科学講座

TEL 0853-20-2284 FAX 0853-20-2278

主催：島根大学医学部(担当講座：公衆衛生学講座、眼科学講座)

後援：出雲市